

ふれあいゆる かつま

コミュニティ情報

平成 30 年 4 月 1 日号 (第 60 号)

勝間コミュニティ推進協議会発行

パソコンでご覧になるには・・・『周南市コミュニティ推進協議会』ホームページ

[周南市コミュニティ](#) で検索!

勝間ふれあいセンターからのお知らせ

平成 30 年 4 月 1 日より、勝間ふれあいセンターの公称が『**勝間市民センター**』に変更になります。公民館の機能を維持しつつ、これまで公民館ではできなかった収益を生む活動など、地域の実情に応じた施設運営を進めていくことを目的としています。

なお、勝間市民センターの愛称として『勝間ふれあいセンター』の名前は残る予定です。

～新刊12冊『タイトル』ご案内～

- ・夜行
- ・ナックルな三人
- ・SHOE DOG
- ・銀河鉄道の父
- ・蜜蜂と遠雷
- ・i (アイ)
- ・コーヒーが冷めないうちに
- ・トヨタ物語
- ・スタンフォード式 最高の睡眠
- ・やさいさん
- ・ぜったいにおしえちゃダメ?
- ・えがないえほん



※貸出は一人 3 冊まで

貸出期間は 10 日間です

学習室の利用は、

平日 8:30~17:00

資源回収、ご協力ありがとうございました

2月24日（土）の資源回収では、皆さまのご協力で、6トンあまりの資源を回収することができました。

資源回収の収益は、今回の回収に関わった4団体「勝間地区社会福祉協議会」、「勝間スポーツ振興会」、「勝間地区自治会連合会」、「勝間コミュニティ推進協議会」の事業資金として、有効に活用させていただきます。

ご協力、まことにありがとうございました。

【今回の資源回収の結果】

◎重量：6,158キログラム（昨年は5,965キログラム）

◎金額：72,441円

防災コラム

食糧備蓄は3日分

災害への備えで、まず思いつくのは食料の備蓄だと思います。いざという時の備えは多いに越したことはありませんが、おうちに食べ物を保管するスペースには、限りがありますよね。避難するときに持ち出すのも大変です。食糧備蓄っていったいどのくらい必要なのでしょうか。

災害発生から72時間（3日間）は、人命救助が最優先されるため、物資の配給が届きだすまでの3日分が食糧備蓄の基本とされます。

食糧備蓄のポイント。

『防災用』として特別に手を付けずに保管しておくのではなく、普段から食べているものを備蓄しつつ、使った分を補充して常に一定量の食材を備蓄すると、買い忘れが防げますし、災害時にも日常に近い食生活を送ることができます。

（出典・・・おしえて！防災事典-お天気 JAPAN）